

05 日本人が歯を失う、本当の理由

もう、おわかりですね。

私たちが歯を失うのは、保険では、すべての歯を残すために十分な「予防」の観点から見た治療、処置は、できないことになっているからです。

- ・治療は痛くて、怖くて、嫌な気持ちができるもの、できれば治療なんてしたくない
- ・保険でできる治療は、疾患の再発や、二次的疾患のリスクに配慮されていない
- ・歯周病は生活習慣病で、全身における様々な疾患と密接に関わっている

私たち歯科医療従事者からすると、これまでにお伝えしてきた問題、すべてを回避しようと考えたら、初めから「予防」することが得策で、理にかなっていると考えられます。

はたしてあなたは、これらの問題すべてを「予防」できることを、本当にご存知でしたか？

他の先進国のように、日本では「予防」することが、国策とはされていません。

その合理性も重要性も知らされず、保険でも守られていません。

そのため、多くの国民が知識不足で意識が低く、しなくても済んだかもしれない痛みを抱えたり、無駄な医療費を負担することになったりしています。

当院では開院当初より「予防」の重要性を啓蒙してきました。

当初はセルフケアを「予防」の要として、歯磨き指導を徹底的にしていました。

昼休みも返上して、マンツーマンで歯磨き指導をしていたある日、一生懸命に練習していたクライアントさんのお一人が、涙をこぼしながらおっしゃったのです。

「申し訳ありません。どうしても、これ以上、上手に磨くことができません」

頭を殴られたかのような衝撃を受けました。

歯磨きが上手にできないこと、それがまぎれもない、そのクライアントさんご自身の個性の一つだということに、初めて気づかされた瞬間だったのです。

それ以来私たちは、「一個人」であるクライアントさん一人一人のために、十分な「予防」を提供するにはどうしたらいいか、セルフケアを補助するプロケアの在り方を、試行錯誤してきました。

現在では「予防」専門の歯科衛生士チームを中心として、来院されるクライアントさん全員と、定期健診で「予防」に繋がることに努めています。

定期健診では「一個人」であるあなたご自身にあわせて、しっかりと「予防」していく最善の方法を、一緒に考えてまいります。

保険でできる中でも最大限のサービスに努め、積極的に、保険の枠を超えた学術、材料のご案内と、ご提供をさせていただいています。